

# 平成25年度 道南ブロックフレッシュマン研修会審判研修会 報告書

苫小牧地区審判長 久保 大輔

○日時 平成25年8月31～9月1日

○場所 苫小牧市立勇払中学校

○参加人数 講師3名 研修生28名

○経過と内容、成果など

時刻	プログラム	おもな内容
8月31日 9:15	開講式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック長挨拶、日程説明 など</li> <li>講師 道南ブロック長 櫻井 孝氏 室蘭地区審判長 佐藤 淳 苫小牧地区審判長 久保大輔</li> </ul>
9:40	実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苫小牧地区中学校1年生大会の5試合を研修生に割り当て、参加した日本公認審判員をコート主任として、ゲーム後の研修を行った。</li> <li>・ 本研修は、日本公認審判：ゲームの管理、北海道公認A級：課題の克服、北海道公認B級：正確な判定、無資格者：動き方とポジショニングをテーマに研修を行った。</li> <li>・ 参加者は、テーマを視点においたコート主任、講師からの指導・助言を受け、自分の課題について確認することができた。</li> </ul>
16:00	分解練習 演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校男子（苫小牧市立啓明中学校、苫小牧市立勇払中学校）に協力をいただき、ハーフコートの3対3（UCLAカット）の分解練習で動き方とポジショニングの研修を行った。</li> <li>・ その後、5対5のモデルゲームで、日本公認、道公認が主審、副審を努め、各テーマを意識した演習を、無資格者がその後ろで動きとポジショニングの演習を行い、講師から指導・助言をいただいた。</li> <li>・ 動き方、ポジショニングについてはおもに、リードの動き方とポジショニング、ポストプレイのピボットによるトレイル、リードの役割分担など、おもに、スペースウォッチングのポジショニングについて講師からの助言をいただいた。</li> </ul>
18:00	終了	1日目の総括を講師からいただいた。
9月1日 9:00	実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師：櫻井氏、佐藤氏、久保氏</li> <li>※苫小牧地区中学校1年生大会準決勝、決勝を使用</li> <li>・ ゲームは6試合、延べ12人の審判員に割当てがあった。前日と同じように、主任と講師からアドバイスをもらった。</li> <li>・ 割り当てられた審判員は、研修のテーマを視野に、昨日の研修で得た成果や課題を意識した中で、ゲームの審判を行った。</li> </ul>
18:00		終了
18:00	閉講式	室蘭地区佐藤審判長より講評 櫻井道南ブロック長より総括 閉講式を行った。

## ○成果と課題

今回のフレッシュマン研修には28名の参加があり、大変充実した研修となった。また、高校生3名、大学生7名の参加があり、各地区ともに、若手審判員を育成しようとする姿勢が感じられた。

研修に参加した審判員は、大変真面目で、試合を見ながらメモをとったり、コート主任を務めた日本公認審判員や講師からのアドバイスをしっかりと受け入れるなど、研修に参加する意気込みが感じられた。

今回、苫小牧地区中学校1年生大会を研修の実技として活用させていただいたが、技術の未熟な1年生のゲームが研修に値するものであった。特に、予測して動く、スペースを見に行く、正しい位置で判定するといったことが、日本公認、道公認共通して課題となったようである。

1日目の分解練習、演習においては、無資格者も公認審判の後ろについて一緒に走り判定することで、なぜ、そこに行くのか、何が見え、何をどのように判定するのかといった部分を体で確認することができ成果を得たようである。また、公認審判は、無資格者が後ろに付くことで、公認審判としてのプライドと正しく動かなければならないといった意識が見られ、両者ともに成果が見られた研修となった。

研修会全体をとおして、日本公認審判員には、主審としてのゲーム管理、道公認A級審判員には日本公認審判員を目指す課程での課題の克服、道公認B級審判員には1ゲームを通して当たり前のものを当たり前前に判定し、終始、正確に判定する、無資格者においては、判定するためにどこに動き、どこで判定するかをテーマに、それぞれが意識した研修を展開することができた。

参加者には各地区で講師から受けたアドバイスを大いに生かし、審判活動に取り組んでいただきたい。また、各地区においては、積極的に研修に参加した審判員を育成し、地区の活性化を図っていただきたいと期待したい。